

平成28年度 江別市学校教育基本計画推進状況報告書

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

基本理念 : 心豊かに学び ともに未来のふるさとを拓く 子どもの育成

目指す子ども像 : 夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて 行動する子ども

子ども一人ひとりに定着すべき資質・能力の育成、教育環境の整備、学校・家庭・地域社会との連携協力の観点から、4つの基本目標に基づき、計画を推進しています。

基本目標 1 : 確かな学力を育成する教育の推進

【基本目標 1 で目指すこと】

これからの知識基盤社会の時代を、子どもたちが主体的、創造的に生きていくためには、基礎的な学力とともに、応用力や発展的な学力を身に付けることが必要です。このため学校教育においては、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させ、それらを活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の確かな学力を育むことを重視した指導の充実を図ります。

また、コミュニケーション能力を高め、国際社会を主体的に生きる力の育成、ノーマライゼーションの理念に基づく教育、一人ひとりのニーズに応じた指導や支援を行う特別支援教育の充実を図ります。

◆成果指標 1-① 学校の授業が分かったと答えた児童生徒の割合

現状値 (H24年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)
88.7%	91.0%	91.7%	96.9%			↗

◆成果指標 1-② 職場体験を通して、自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合

現状値 (H24年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)
71.0%	76.4%	79.2%	77.3%			↗

◆成果指標 1-③ 通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒の個別の教育支援計画を作成している学校の割合

現状値 (H24年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)
64.2%	55.5%	57.7%	50.0%			↗

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

全小中学校で「学校改善プラン」を作成し、創意ある教育課程の編成・実施や、学習サポート教員や学生ボランティアなどの人的支援を引き続き行うなど、きめ細やかな指導体制の工夫改善を図ったほか、新たにデジタル教科書の整備や江別第一小学校にタブレットパソコンの導入等のICT教育環境の充実等に取り組みました。また、福祉施設やスーパーマーケットなどの市内事業所での中学生による職場体験を引き続き実施しました。個別の教育支援計画については、通常学級の児童生徒も必要に応じて、本人・保護者の同意を得て学校が作成に努めたほか、小学校4校と中学校1校に新たに特別支援学級を開設し、特別支援教育の充実を図ってきました。成果指標1-①は数値が上昇し、1-②は概ね横ばいの状況であり、1-③は減少しています。

次年度においても、引き続き組織的に学力向上に取り組む学校体制づくりや基礎学力の確かな定着を図る授業改善、長期休業中や放課後の補足的な学習の支援、デジタル教科書の整備など、ICT機器を積極的に活用するための教育環境、職場体験を含むキャリア教育などの充実を図るとともに、個別の教育支援計画作成を推進するために、学校全体で児童生徒を支援する校内体制の充実と教員の専門性の向上を図ります。

基本目標 2 : 豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進

【基本目標 2 で目指すこと】

家庭や地域の教育力の低下とともに、規範意識や人間関係の希薄化が指摘されています。子どもたちに基本的な生活習慣を身に付けさせ、規範意識を高めるとともに、自らを律しつつ他者を思いやる心や感動する心などの豊かな心を育むことが必要です。このために学校では、家庭や地域社会と連携し、学校の教育活動全体を通じた道徳教育や自己肯定感を育む体験活動、読書活動の充実を推進します。

また、子どもたちの体力向上の取組、学校保健、食育の充実により、子どもの心身の健康の保持、増進を図ります。

◆成果指標 2-① 自分には、良いところがあると思う児童生徒の割合

現状値 (H24年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)
70.8%	67.4%	73.2%	69.5%			→

◆成果指標 2-② スポーツに親しんでいる児童生徒の割合

現状値 (H24年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)
58.4%	56.9%	60.7%	61.6%			→

◆成果指標 2-③ 朝食を食べて学校に通う児童生徒の割合

現状値 (H24年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H30年度)
85.8%	84.9%	87.3%	85.2%			→

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

道徳教育や人権教育、農業体験などの体験活動など、豊かな心と感性を育むための教育を引き続き実践しました。また、インターネット等の不適切な利用によるトラブル等から子どもたちを守るため、情報モラル普及啓発のための市独自のリーフレットを児童生徒に配布したほか、市内全中学校で外部講師による情報モラル講演会を開催しました。体力向上においては、大学と連携した体力向上プログラムや小学校への出前授業、正しい走り方を身に付けるための「走り方教室」を継続して実施しました。さらに、食育弁当の日をはじめとした食に関する指導を実施しました。

成果指標 2-①・②・③は、いずれも概ね横ばいの状況になりました。

今後も更に、道徳教育や人権教育の推進、農業体験・ボランティア体験などの体験活動の充実、走り方教室等の継続による体力向上、食育の取組を推進します。

基本目標 3 : 良好な教育環境の整備

【基本目標 3 で目指すこと】

子どもたちが未来への夢や希望を抱き、心身ともに健やかに成長するためには、安全・安心とともに、多様な可能性を伸ばす教育環境を整備することが必要です。そのためには、子どもたちを事故や犯罪などから守る安全教育や安全対策を推進するとともに、安全な学校施設の確保のための施設整備、多様な学びに対応できる機能的施設・設備の整備のほか、学校の適正配置や就学支援などを進め教育環境の充実を図ります。

◆成果指標 3-① 市立小中学校における耐震化率

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
84.8%	90.2%	98.9%	100.0%			100.0%

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

これまで安全な学校施設確保のため、施設の整備を計画的に進めてまいりました。
 成果指標 3-①については統合校である江別第一小学校の新校舎が完成し、同敷地内の旧校舎（管理棟）解体をもって耐震性が不足又は未確認である建築物への対処が全て終了したことにより、平成28年度事業をもって市内小中学校の耐震化は全て完了いたしました。

基本目標 4：家庭や地域に開かれた学校づくりの推進

【基本目標 4 で目指すこと】

我が国と郷土の未来を切り拓くために行われる子どもたちの教育が、一層効果的に行われるようにするために、学校・家庭及び地域社会がそれぞれの機能を十分発揮して、その責任を果たすとともに、これまで以上に連携を強化することが求められています。そのために学校は、地域に開かれた学校づくりや特色ある学校づくりを推進します。

また、その連携の土台となる保護者・地域から信頼される学校づくりを実現するために、教員が自らの資質や能力を向上させるとともに、指導の成果と課題の検証をきめ細かく行い、教育活動の改善を図ります。

◆成果指標 4-① 学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
72.1%	70.8%	82.3%	82.5%			→

◆成果指標 4-② 教職員の夏期・冬期セミナーの参加率

現状値（H24年度）	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H30年度）
84.2%	83.0%	73.8%	78.6%			→

■前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性

学校支援地域本部を通して地域の方がボランティアとして学校での教育支援に係る取り組みを進めるほか、ホームページ・学校一斉公開による学校の取り組みの紹介や、学校評価を基に保護者や地域住民等の意向を踏まえた学校運営を行い、地域一体型学校の顔づくり事業を実施してきました。また、長期休業中の教職員セミナー等において、教職員の指導力・授業力を高めるための各種研修を実施しました。

成果指標 4-①は、概ね横ばいの状況であり、4-②は、増加しました。

今後も、学校一斉公開や学校支援地域本部事業など各事業を推進し、学校と家庭・地域が連携していく取り組みを進めていきます。また、教職員の資質能力の向上を図るため、引き続き教職員セミナー等の研修を計画的に実施するとともに、全教職員が参加しやすい日程を可能な限り調整し、より実践的かつ効果的な研修となるよう研修内容の充実を図っていきます。